

北海道大学 日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」において講義を行いました。



平成28年8月18日に北海道大学の日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」(通称：RJE3プログラム)に参加している日本人及びロシア人学生13名が同大学工学研究院 田村亨教授の引率により北海道開発局を訪れました。

このプログラムは、北海道大学が極東ロシアの基幹5大学(極東連邦大学、北東連邦大学、イルクーツク国立大学、太平洋国立大学、サハリン国立大学)とともに、極東・北極圏、特にロシアにおける課題解決方法を分野横断的に学び、持続可能な環境・文化・開発を牽引する高度職業人として活躍する専門家を育成するための国際連携教育システムの構築を目指して実施しているものです。



北海道開発局は、プログラムの一環である基礎科目・実習として、北海道開発行政について講義を行い、北海道総合開発計画や北海道開発予算、これまでの北海道開発の成果などを説明いたしました。

講義終了後は、学生達から、インフラ整備における中央政府補助率や整備費用捻出の課題、寒冷地であるロシアと北海道において共通する積雪路面への対策といった、様々な質問をいただいたほか、ロシア極東における観光政策を紹介いただくなど、活発な質疑応答が行われました。

